

別紙（別記様式第1号関係）

事業計畫

事業名	ふれあい 歩こう 元気かい 事業
実施箇所	佐久市猿久保及び周辺地域
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年 4月 1日 事業終了予定年月日 平成31年 3月 31日
	<p><事業の目的及び達成目標></p> <p>事業を行う背景：地域の歴史、魅力再発見を通した健康づくりの推進</p> <p>地域の課題：地域の歴史を知らない方の増加（新規居住者の増加） 地域住民を相互に知らない方の増加 高齢者・単身世帯の増加 身近な自然（花、山等）の魅力を知らない方の増加 体を動かす機会の減少=>健康づくりの機会が必要</p> <p>これらの課題に対応するため、地域のふれあい、健康づくりの輪を広げていく</p> <p>猿久保元気会を主体として、作成したウォーキングマップを活用した健康づくりウォーキングの定着を目指す</p>
事業概要	<p><事業の内容></p> <p>(1) 地域住民が参画したウォーキングマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歴史探索コース ②植物（花）を愛でるコース ③風景・山のビューポイントコース ④近場のスポット散策コース <p>のウォーキングマップを作成して、区民に配布し、活用を促す</p> <p>(2) 作成したマップを使用し、地域の歴史を学ぶ機会、魅力発見の機会、歩く機会、出会いの機会等の提供</p>
	<p><アピールポイント></p> <p>(1) 地域の身近な歴史、四季折々の植物（リンゴ、桃、ブルーン等の果樹の花）、浅間山、八ヶ岳、北アルプスなどのビューポイントを紹介して、歩くきっかけを作る</p> <p>(2) マップを活用したウォーキング時、地域で活躍する人、果樹栽培・野菜栽培等の知識・技術を持った人から種々の話を聞くなどして、交流の場を広げるきっかけ作りに役立てる</p> <p>(3) 区民他を対象とした幅広いウォーキングイベントの他、生き生きサロン等のメニューとしても活用する</p>

年間計画	4月	・ウォーキングマップコース案検討 (歴史、植物、風景・山、近場のスポットの4コース)		
	5月	・コース案の踏査と各ポイントの写真撮影		
	6月	・ウォーキングマップ原案作成 (コース、掲載写真、ポイントの記事検討)		
	7月	・区有識者を交えた意見交換 ・ウォーキングマップ決定		
	8月	・ウォーキングマップ印刷依頼、校正 ・ウォーキングマップ完成		
	9月	・ウォーキングマップ完成PR (区内全戸への配布) ・ふれあい 歩こう 元気かいキックオフイベント開催 (講演会、ウォーキング(歴史、植物、風景・山コース))		
	10月			
	11月	・ウォーキング(歴史、植物コース)		
	12月			
	1月	・ウォーキング(風景・山コース、近場スポット)		
	2月	・次年度の活動計画検討		
	3月	・ウォーキング(歴史、風景・山コース)		
活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)	<「公益性」の視点>			
効果・成果：一緒に歩く機会を提供することで、個々の健康づくりに貢献 ウォーキング時、地域の人とのコミュニケーションを図ることにより、地域住民との親近感、一体感の醸成				
対象者：区民(約280世帯660人)・・・子供からお年寄りまで その他一般(浅間地区の公民館活動、公民館長会議等を通じて マップ／イベント開催日をPRすることにより、 区民外にも広く参加を呼び掛ける)				
参加予定人数：20～30名／回(10名位でコース分け)				

	<p><「自立性」の視点></p> <p>一過性のものではなく、継続的な実施を目指し、区内のクラブとして ”猿久保元気会”を設立する</p> <p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p> <p>資金面：1、2年目の立上げ時は、佐久っと支援金の交付を申請する。 3年目以降は、活動支援のためのクラブ助成金を支給</p> <p>人材：元気会の存在、活動日を区内にPRし、構成員・参加者の増加を図る(子供会、老人会、生き生きサロンでのPR)</p>
翌年度以降の活動内容概要	<p>(1)年度初めにウォーキング教室を開催し、ウォーキングの正しい知識を身につける (靴の選び方、靴の履き方、安全・安心なウォーキング、ストレッチ、ポール体操、ポールウォーキング等の講習)</p> <p>(2)ウォーキングにポールウォーキングも取り入れる (区に貸し出し用ポールを装備)</p> <p>(3)ウォーキングの開催頻度、参加人数を増やす対策を講じる (1回／月開催、参加人数:30名前後／回を目指す)</p>
事業の最終目標	<p>地域の歴史を知ったり、魅力を再発見するという身近なウォーキングを通して、参加者の健康維持・増進を図るとともに健康寿命を延ばす手助けとする</p>